

様式第1（第3条関係）（表面）

特定施設（有害物質貯蔵指定施設）設置（使用、変更）届出書

長崎県知事

00 00 様

届出者

住 所 長崎県00市00町0-0

氏名（名称） 00ホテル

代表者氏名 代表取締役 長崎 太郎

00年 00月 00日

実際に届け出る日を記入する
（郵送の場合は発送日）

< 法人の場合 >
次の事項を記入する
・ 法人の所在地、名称
・ 代表者の職名・氏名
< 個人の場合 >
事業主の住所、氏名を記入する

該当しない項目には二重線を引く

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項（第6条第1項又は第2項、第7条）の規定により、
特定施設（有害物質貯蔵指定施設）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		00ホテル 00営業所		※整 理 番 号		
工場又は事業場の所在地		長崎県00市00町0-0		※受理年月日		年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類の	66-3 旅館業 イ ちゅう屋施設 □ 洗濯施設 ハ 入浴施設		※施設番号		
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 ☐ 無 ☒	※審査結果			
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。		※備 考		
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙1の2のとおり。				
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。				
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。				
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。				
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。				
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。				
	第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類の				
△有害物質使用特定施設の構造		別紙7のとおり。				
△有害物質使用特定施設の使用の方法		別紙8のとおり。				
△汚水等の処理の方法		別紙9のとおり。				
△特定地下浸透水の浸透の方法		別紙10のとおり。				
△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統		別紙11のとおり。				

水質汚濁防止法施行令別表第一の号番号と名称を記入する。

有害物質使用特定施設の有無をチェック☑する

該当しない欄には斜線を引く。

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	☐ 有害物質使用特定施設 ☐ 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあっては、名称）を記載すること。
- 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
- 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
- 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 5 ※印の欄には、記載しないこと。
- 6 排水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
- 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	①	②
特定施設番号及び名称	イ ちゅう屑施設	ロ 洗濯施設
型 式	—	長崎県庁機械製 全自動洗濯機 NGS-5000WH (洗濯機の型番を記載)
構 造	ステンレス製 タイル張り	ステンレス製
主 要 寸 法	たて よこ 高さ 10m × 7m × 3m (屑屑施設の広さを記載)	たて よこ 高さ 0.7m × 0.7m × 1m (洗濯機の高さを記載)
能 力	調理 50食/日	9kg/回
配 置	別図1のとおり	別図1のとおり
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	00年00月00日	00年00月00日
工事完成予定年月日	00年00月00日	00年00月00日
使用開始予定年月日	00年00月00日	00年00月00日
その他参考となるべき事項	事業場の平面図などに 特定施設の設置場所を記載	本洗濯施設が5台ある

工場又は事業場の全施設のうちから当該施設を特定するために用いている番号、名称等を記入する

メーカー、型式番号等を入力する

材質を記入し、構造図（カタログ等）を添付する

施設の大きさを記入する

原則として1施設を、想定される最大作業時間稼働させた場合の能力を記入する

それぞれの予定日を記入する

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	③	
特定施設番号及び名称	ハ 入浴施設	
型式	長崎県庁陶器 システムバス NGSK-1624KNTY (システムバス等の型番を記載)	
構造	タイル張り	
主要寸法	たて 1.0m × よこ 0.5m × 高さ 0.7m (浴槽の広さを記載)	
能力	—	
配置	別図1のとおり	
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項	本入浴施設が50室ある	

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

別紙 1 と同じ内容を記入する

設置場所が分かる図面を添付する

原料から製品までの製造工程のフローシートを添付し、工程における特定施設に色をつける等、他の施設と区別する

通常の使用開始・終了時間を記入する
使用する日及び時間帯が不規則な場合は、その旨記入する

通常の 1 日あたりの使用時間を記入する

通常の使用開始・終了時間を記入する
使用する日及び時間帯が不規則な場合は、その旨記入する

特定施設を含む作業工程において使用する原材料（消耗資材を含む）の種類、使用方法及び 1 日あたりの使用量を記入する

特定施設から排出される汚水等の量を記入する

別紙 2 - 1

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	①		②		
特定施設番号及び名称	イ ちゅう厠施設		ロ 洗濯施設		
設置場所	別図1のとおり		別図1のとおり		
操業の系統	同上		同上		
使用時間間隔	5:00~23:00		0:00~24:00		
1日当たりの使用時間	17時間		24時間		
使用の季節的変動	あり(夏季に利用者が多い)		あり(夏季に利用者が多い)		
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	食品(米・肉・魚・野菜など) 00kg/日		石鹸・合成洗剤 00kg/日		
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	届出の申請時に 水質汚濁防止法担当者に ご相談ください (下水道に接続する場合この欄の記入は不要です)				
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	
00	00	00	00	00	
その他参考となるべき事項			本洗濯施設が5台ある		

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙2-2

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	㊟				
特定施設番号及び名称	ハ 入浴施設				
設置場所	別図1のとおり				
操業の系統	同上				
使用時間間隔	0:00~24:00				
1日当たりの使用時間	24時間				
使用の季節的変動	あり(夏季に利用者が多い)				
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	石鹸・シャンプー 00kg/日				
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	届出の申請時に 水質汚濁防止法担当者に ご相談ください (排水を下水道に接続する場合 この欄の記入は不要です)				
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	
	00	00			
その他参考となるべき事項	本入浴施設が50室ある				

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

グリーストラップや排水処理施設（浄化槽等） についてご記入ください。

別紙3

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	排水①								
処理施設の設置場所	別図1のとおり				事業場の平面図などに 処理施設の設置場所を記載				
設置年月日	00年 00月 00日								
工事着手予定年月日	年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		
工事完成予定年月日	年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		
使用開始予定年月日	年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		
種類及び型式	浄化槽 NGSK-500H								
構造	FRP製								
主要寸法	7 X 7 X 3								
能力	500人槽								
処理の方式	接触はっ気方式								
処理の系統	別図2のとおり								
集水及び導水の方法	別図1のとおり				処理施設の仕様書（設計計算書）等を添付				
使用時間間隔	0:00~24:00								
1日当たりの使用時間	24時間								
使用の季節変動	なし								
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	-								
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	届出の申請時に 水質汚濁防止法担当者に ご相談ください								
	量（m ³ /日）	00	00	00	00				
残さの種類、1月間の 種類別生成量及び処理 方法	浄化槽汚泥：00m ³ /月 浄化槽汚泥については、1年に2回清 掃を実施								
排出水の排出方法	排出口：1（別図1参照） 趣溝に放流、放流先：00111				事業場の平面図などに 最終放流口の位置を記載				
その他参考となるべき 事項	保守点検業者：長崎県庁管理社 清掃業者：長崎県庁清掃社								

工場又は事業場の全施設のうちから当該施設を特定するために用いている番号、名称等を記入する

施設名称、メーカー、型式番号等を入力する

材質を記入する

構造図（カタログ等）を添付する

1日あたりの処理能力を記入する

処理方法を具体的に記入する

排水処理の系統（工程フロー）を明記した書類を添付する

汚水等の集水及び汚水等の処理施設までの導水方法を記入する
事業場の全体配置図に集水経路を赤線で明記した図面を添付する

通常の使用開始・終了時間を記入する

通常の日当たりの使用時間を記入する

季節変動がある場合はその概要を記入する（例：5～8月のみ使用する）

汚水等の処理施設において中和、凝集、参加その他の反応の用に供する消耗資材の1日当たりの用途別使用量を記入する
1日当たりの使用量は、通常の平均的な量を記入する

当該排水処理施設からの排水量を記入する

汚水等の処理によって生ずる残さの種類及び1月間の種類別精製量並びにその処理の方法の概要を記入する

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場・事業場における施設番号		排水口①			
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	届出の申請時に 水質汚濁防止法担当者に ご相談ください (排水を下水道に接続する場合 この欄の記入は不要です)				
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		〇〇	〇〇		
その他参考となるべき事項		※別図1参照			

排水口ごとに名称を付け、添付図面に記入する
工場又は事業場の全ての排水口について記入する

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

